

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長崎県 諫早市 雲仙市	420000 422045 422134	1	平成20～22年度	平成20～21年度
活性化計画の区域				
諫早湾地区(長崎県諫早市、雲仙市)				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
交流人口の増加	66.67%	135.53%	203.28%	
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	120.0 ha	176.7 ha	147.25%	

(コメント)

目標値として平成20年度～22年度の3ヶ年間で125,000人の交流人口拡大(50,000人の増)を掲げていたが、3ヶ年実績で176,650人(101,650人の増)となり目標を達成した。

目標値の算出方法 = (拡大後の交流人口) ÷ 従前の交流人口 × 100 - 100

目標 66.67% = (75,000 + 50,000) ÷ 75,000 × 100 - 100

実績 135.53% = (75,000 + 101,650) ÷ 75,000 × 100 - 100

また、補完として暗渠排水工を整備することで、ほ場の生産条件が改善され、176.7haの農地について良好な作付が可能となり、目標である農地機能の確保を達成した。今回の整備を契機に県内随一の大規模農業経営地帯として更に発展し、安定経営が図られることで、地域への定住促進につながることを期待する。

2 - 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
自然環境保全・活用施設	遊歩道4.9km、トイレ2箇所、休憩所1箇所、遊水施設1箇所、駐車場1箇所、掲示施設11基、ベンチ9基、照明施設5基		長崎県
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
長崎県、諫早市	平成20年度	平成21年度	平成22年4月1日
事業の効果			
<p>整備を行なった潮受堤防道路の中央駐車場利用者数は増加傾向にあり、交流人口の拡大に一定の効果を発揮していると考えられる。また、中央干拓前面堤防中央部の広場についても多くの来訪者があり、今後更なる交流人口の拡大も期待される。</p> <p>さらに、施設利用者の多くが駐車場等に設置した諫早湾干拓の必要性や自然環境、防災機能などを記した掲示施設を、関心をもって見ていることから、諫早湾干拓の目的や意義に理解を深めることにも貢献していると考えている。</p>			

2 -

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
景観・生態系保全整備	植栽工 1 式、石積護岸 1 式、景観保全施設 1 式			長崎県
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
長崎県	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年 4 月 1 日	
事業の効果				
今回整備を行った施設は、新しく創設された自然環境の観察や学習の場として広く活用されていることから、今後更なる交流人口の拡大も期待される。				

2 -

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
畑地振興追加補完整備	暗渠排水工 A = 24.3ha、排水路工 1,189.6m			長崎県
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
平成諫早湾干拓土地改良区	平成 2 1 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年 4 月 1 日	
事業の効果				
今回の整備で優良な農地が確保されたことにより、持続的農業の発展及び地域への定住促進につながるものと期待される。				

2 -

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農山漁村活性化施設整備附帯事業	案内標識 7 箇所			長崎県
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
長崎県	平成 2 1 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年 4 月 1 日	
事業の効果				
諫早湾地域に新たに創設された自然環境や施設への誘導を円滑に行うため、主要道路に案内標識を設置した。県内外からの一般者の流入促進が図られ、交流人口の拡大に貢献していると考えている。				

3 総合評価

(コメント)

本事業は諫早湾干拓事業により創出された新たな資源（調整池、自然干陸地、潮受堤防、干拓農地等）を有効活用し、自然環境学習等を通じた「交流人口の拡大」を目標とし、必要とされる最小限の施設整備を行った。

検証の結果、活性化計画の目標は達成されたが、更なる資源の有効活用に向けて地域住民及び関係機関との連携を持続的に進めていく必要があると考えている。

4 第三者の意見

(コメント)

同事業は、国営諫早湾干拓事業で新たに創設された、長崎県諫早市・雲仙市にまたがる干拓地や調整池等の地域資源を有効活用し、特に「交流人口の増加」や「定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保」を視座に、同地区の活性化を総合的に図る目的で実施された。事業後の実績では、当初設定の事業活用活性化計画目標を上回る効果が発現しており、時宜を得た適切かつ効果的な事業であったと判断する。今後は、本事業の成果を踏まえ、ステークホルダーや関係機関との連携の下、地域資源の持続可能な利活用に基づく同地区の活性化を更に進めるための継続的取組を期待する。